

2025 年 10 月 16 日

サーキュラーエコノミーの実現に貢献する取組

リース業界の資源循環実績(2024 年度分)

公益社団法人リース事業協会(会長:三菱HCキャピタル株式会社 久井 大樹 代表取締役社長執行役員)は、サーキュラーエコノミーの実現に貢献するため、2024 年 9 月、定量的な資源循環目標を制定し、リース満了物件の資源循環を推進していますが、このたび、2024 年度の実績を取りまとめましたので公表いたします。

リース業界を挙げてサーキュラーエコノミーの実現に貢献するため、引き続き、会員会社が目標に向けた取組を進めていくことにより、リース物件の更なる資源循環を目指してまいります。

	目標水準	実績
リース業界全体の目標	リース満了物件の有効利用率※1 95%以上(2030 年度目標)	2024 年度 95% (会員会社 129 社)
プラスチックに関する目標	廃プラスチック(リース終了物件)の再資源化率※2 90%以上(2030 年度目標)	2024 年度 82% (会員会社 44 社)

※1 リース物件(ソフトウェアを除く)の当初取得価額ベースで以下の算式により算出しています。実績は加重平均値で示しています。

$$\text{有効利用率} = \frac{\text{2024 年度に再リース契約へ移行したリース契約} + \text{2024 年度のリース終了物件の売却・廃棄}}{\text{2024 年度にリース期間が満了したリース契約}}$$

補足説明:再リース(リース物件の長期使用による廃棄物の発生抑制)、売却(リース物件の長期使用による廃棄物の発生抑制又は素材等の再利用による資源の有効利用)、廃棄(再資源化率が高い産業廃棄物処分業者に処分を委託する等による資源の有効利用)

※2 「プラスチック資源循環促進法-リース会社向けガイダンス(第 2 版)」(2023年10月)で示した「再資源化率」により算出しています。実績は単純平均値で示しています。

$$\text{再資源化率} = \frac{\text{2024 年度の廃プラスチック再資源化量(マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクル、サーマルリサイクル)}}{\text{2024 年度の廃プラスチック排出量}}$$

参考 会員会社各社の目標達成状況 () 会社数の構成比、青色の網掛けは目標達成を表します。

実績	リース業界全体の目標	プラスチックに関する目標
100%	13 社 (10%)	10 社 (23%)
95%以上~100%未満	91 社 (71%)	13 社 (30%)
90%以上~95%未満	15 社 (12%)	6 社 (14%)
90%未満	10 社 (8%)	15 社 (34%)

本件に関するお問い合わせ 協会事務局 廣澤・玉手 TEL03-3595-1501

サステナビリティに関する当協会特設ホームページ
<https://www.leasing.or.jp/sustainability/>

